

## 令和3年度県立病院事業経営評価委員会からの 意見への対応状況

2022 年 10 月 31 日  
福 島 県 病 院 局

意見	対応状況等
地域にあった医療体制を検討し、地域住民の命を守れるような対応をお願いします。	<p>【宮下病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮下病院の建替えに当たっては、令和元年度の宮下病院機能検討委員会の報告を踏まえ、患者動向に応じた診療科の確保、入院対応の継続、救急・診療時間外の受入れ、在宅医療機能の強化など、地域の状況に即した機能とする予定である。</li> </ul> <p>【南会津病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病棟の導入を予定しているが、現在、新型コロナウイルス感染症患者の専用病棟としている。</li> <li>・常勤医が配置できない診療科は、県立医大、会津医療センター等から診療応援を受け、診療日を設けている。</li> <li>・ＩＣＴの活用により県立医大と透析患者の情報をリアルタイムで共有し、県立医大の専門医から助言を受けるなど、透析医療の充実を図っている。</li> </ul> <p>【ふたば医療センター附属病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・双葉地域の再開した医療機関や近隣の二次・三次救急医療機関、消防機関等との連携のもと、多目的医療用ヘリ等も活用した広域的な救急医療体制を確保している。</li> <li>・開院時（平成30年度）から実施している訪問看護について、積極的に取り組み、利用者数が増加している。</li> </ul>
在宅患者の受入や在宅復帰支援の観点から、回復期病床や地域包括ケア病床の開設を検討しても良いのではないか。	<p>【南会津病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病棟の導入を予定しているが、現在、新型コロナウイルス感染症患者の専用病棟としている。（再掲）</li> </ul> <p>【宮下病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度の宮下病院機能検討委員会の「入院患者の動向や効率的な運営の視点を踏まえ、在宅医療等を充実しつつ、有床診療所とすることが適当である。」との報告を踏まえ、有床診療所として整備する方向で検討している。</li> </ul>
奥会津在宅医療センターの事業を継続して欲しい。在宅支援の観点から、病院から外に出て、医療者側から患者にアプローチしていく流れが重要。	<p>【宮下病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「奥会津在宅医療センター」は県立病院の診療機能の強化や、在宅医療や訪問看護の取組等による医療と介護の連携、地域包括ケアシステムの構築支援等の観点から令和5年度以降も継続する方向で調整している。</li> </ul> <p>【南会津病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度に開設した訪問看護ステーションにおいて、精神科訪問看護を含め在宅医療に積極的に取り組み、利用者数を増加させている。また、訪問診療についても対応する医師を増員し、体制の強化を図っている。</li> </ul> <p>【ふたば医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開院時（平成30年度）から実施している訪問看護について、積極的に取り組み、利用者数が増加している。（再掲）</li> </ul> <p>【ふくしま医療センターこころの杜】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもりや治療中断者の方などに、地域の保健師や教員から相談を受け、病院スタッフが訪問し、生活支援や医療の提供に繋げる訪問支援活動（アウトリーチ）や精神科訪問看護を実施している。</li> </ul>